

遊離トリヨードサイロニン(FT3)				1101500	
				担当部署	
FT3				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			特記事項なし		
検査受付時間			8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング			負荷試験時や日内変動採血指示などの指示がある場合、指示通り		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間			冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		2.3～4.0 pg/mL エクルーシス試薬 FT3Ⅲ 添付文書			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位 pg/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
2.3	4	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		甲状腺ホルモン(T3、T4)は血中ではほとんどが結合蛋白(主に TBG) と結合している。トリヨードサイロニン(T3)において、遊離型(FT3)は総 T3 のほぼ 0.2～0.3%であり、遊離型のみ生理活性をもつ。 また甲状腺ホルモンの中で T3 は最も強い活性がある。 従来は FT3 自体の測定が困難であったが、近年では容易になり、自己抗体の影響を受けない測定法も開発されている。 また FT3 を測定することは TBG の影響を受けないので、TBG 異常症患者のの甲状腺機能の把握に有用である。 三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 23+P328			